

価値創造のあゆみ — 信頼と先進性を礎として、お客様を第一に、新時代を切り拓く

1902 ～ 原点

1902年 創業者・藤本清兵衛は、手形仲介にとどまらず、金融機関と事業会社などの間で資金仲介を行うビルブローカーへの進出を決断し、藤本ビルブローカーを開業。現在の和証券グループの原点となる



藤本ビルブローカー創業者
藤本清兵衛

1913年 為替取引開始

1917年 日本で初めて外貨公債を輸入し、翌年販売

1919年 ニューヨークに駐在員事務所を設置



1933 ～ 証券の道を拓く

1933年 銀行業を廃し藤本ビルブローカー証券へ改称

1937年 藤本有価証券投資組合を組成（投資信託の前駆）



藤本ビルブローカー証券
本店株式部

1943年 日本信託銀行と合併し和証券が発足

1948年 日本初の転換社債を発行

1952年 日本初のオープン型投資信託を創始

1954年 日本初の積立投資業務を開始

1959年 和証券投資信託委託を設立

1961年 東京・大阪・名古屋証券取引所第二部に上場



預り資産残高の推移

1964 ～ 海外展開を通じた国際業務の拡大

1964年 ニューヨーク現地法人を設立
ロンドン駐在員事務所を開設

1970年 東京・大阪・名古屋証券取引市場第一部に上場
アジア開発銀行債券が初の円建て外債として発行され引受幹事を務める



シンガポール開発銀行
債券発行調印式

1971年 世界初のアジアンダラー債（シンガポール開発銀行債）発行の代表引受幹事を務める



日本初のパソコンによる
ホームトレードサービス
開始（1986年）

1985年 米国市場で初の円建て債の主幹事を務める

1999 ～ グループ経営を支えるガバナンスの高度化

1999年 日本の上場会社初の純粋持株会社に移行し、和証券グループ本社となる



企業理念を策定
（1998年）

2000年 報酬委員会を設置

2004年 委員会等設置会社へ移行（現在は指名委員会等設置会社）

2008年 和証券スピリットを策定



4名の女性役員が誕生
（2009年）

2009 ～ 事業ポートフォリオの多角化 ●と 資産管理型ビジネスモデルへの転換 ●

2009年 ● 不動産アセット・マネジメントビジネスに参入

2011年 ● 大和ネクスト銀行が開業

2017年 ● お客様第一の業務運営に関する基本方針を策定
● ボトムアップの営業体制へ転換（商品ごとの目標を廃止）

2018年 ● Fintertech 設立（最先端のテクノロジーを活用した次世代金融サービスの創出を目的に設立）

● 国内証券で初めてNPS^{※1}を導入

● 財産承継プランニングを導入

2019年 ● CONNECT（現大和コネクスト証券）設立
（主にデジタルネイティブ世代獲得を目的に設立したスマホ専業証券）

● 営業員・支店評価にお客様損益を反映し、収益目標を廃止

2020年 ● 資産運用プランニングを導入

2021年 ● 大和証券リアルティ設立
（新たな不動産投資商品の提供を目的に設立）

2024年 ● お客様の総資産を踏まえたポートフォリオ提案プロセスの確立

2025年 ● 資産価値最大化協議会・CV^{※2}会議の設置

*1 NPS[®]（ネット・プロモーター・スコア）は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標です。

*2 CV: Maximize Customer Asset Valueの略

104兆円

